

えどがわボランティアセンターだより

出会い
ふれ合い
助け合い

28年8月発行
第21号

【発行】公益財団法人えどがわボランティアセンター
〒132-0031 江戸川区松島1-38-1
電話：03-5662-7671 FAX：03-3653-0740
E-mail：edo-vc@city.edogawa.tokyo.jp

秋から始まるボランティア講座

たくさんあって
迷っちゃう

講座名	内容	定員	対象	期間・回数	申し込み方法
まちがどおもてなし ボランティア 育成講座	中学校で習う程度の英語表現、外国の方と接する際のマナー、江戸川の見どころなどを学びます。	30名	区内在住、在勤、在学で高校生以上の方(抽選)	詳細は決定次第お知らせします。	 申し込み開始時期や応募方法などは講座によって異なります。 詳細は、後日広報えどがわやホームページでお知らせします。 
手話入門講座	1から手話を始めたい方の講座です。初歩的な技術を学びます。	30名	区内在住、在勤、または在学で18歳以上の方 全15回の講座に、休まずに参加できる方	10月15日～2月18日 土曜日 14:00～16:00 全15回 会場：グリーンパレス	
初心者のための 音訳講座	視覚障がい者のために対面朗読の技術やデジタル録音資料作成について学びます。	20名	区内在住、在勤、または在学の方で、18歳以上の方	9月14日～11月16日 水曜日 10:00～12:00 全10回 会場：グリーンパレス	
日本語 ボランティア 入門講座	日本語を教えるボランティア活動に必要な初歩的な技術を学びます。	未定		詳細は、決定次第お知らせします。	
災害時ボランティア 養成講座(初級)	災害ボランティアスタッフの養成と、地域の防災力の向上について学びます。	20名		9月下旬開始予定です。週に2回行う講座です。詳細は決定次第お知らせします。	

白熱の競技

ボッチャ(Boccia)を知ろう



7月10日のボランティアフェスティバルで、2020年東京パラリンピックの正式競技である「ボッチャ」の紹介、体験イベントが行われました。

ボッチャは、重度脳性まひの方や、同程度の四肢重度機能障がいの方のために考案されたスポーツで、赤と青のそれぞれ6球ずつのボールを投げたり転がしたり、また他のボールに当てたりしてジャックボールと呼ばれる目標球(白いボール)にいかに近づけるかを競い合う競技です。

はじめはとまどっていた人たちも、練習を重ねるにつれ正確なコントロールが身についてきて、練習後に行われた試合は、とても白熱したものになりました。



夏のボランティア体験 体験希望者 受付中!!

ボランティア活動に興味がありながらも、普段は学校や仕事で時間が取れない方へ!夏休みを利用して「ボランティア体験」をしてみませんか。
区内の施設、ボランティア団体が、皆さんの参加を待っています。

- 活動期間** 平成28年7月16日(土)～8月31日(水)
(上記期間で1日～1週間程度)
- 活動先** 熟年者施設、障がい者(児)施設、保育園
図書館、共育プラザ、すくすくスクールなど
- 費用** 300円(ボランティア保険料)
- 申し込み先** ボランティアセンター窓口



保育施設での幼児見守りボランティア

- ※高校生以下の方は、保護者の同意が必要です。
- ※施設によって受入れが可能な期間が異なります。
概ね8月20日(土)までにはお申し込みください。
- ※活動先の一覧は、当センターの窓口で配布している他、
ホームページで公開しています。
- ※これからボランティア活動を始めたいけれど何を
いいかわからないと思っている方もこの機会をご利用
ください。
ご相談もお受けしています。



公園での清掃ボランティア

えどがわボランティアセンターHP → <http://edogawa-vc.jp>

2016 ボランティアフェスティバル大盛況でした

7月10日(日)、タワーホール船堀で「ボランティアフェスティバル」が盛大に開催されました。
今年、パラリンピックの競技種目「ボッチャ」の紹介・体験コーナーや、メイク・ネイル・ハンドマッサージ
体験コーナー、記念写真コーナー等を新設しましたが、天候にも恵まれ、述べ4,800名の区民の皆さんに
ご来場いただきました。
参加団体の皆様をはじめ、高校や専門学校の学生ボランティアの皆さんのご協力により、大いに楽しんで
いただくことができました。
ご協力くださった皆さま、イベントを盛り上げてくださった
皆さま、本当にありがとうございました。

たくさんの
ご来場本当に
ありがとうございました。



ありがとう

(5月・6月分)

使用済み切手 受領 67件 21.9kg

※ボランティアの振興に有効に使わせていただきます。

ボランティア団体登録数

登録団体数:196団体 登録人数:6,056人
(平成28年7月現在)

外国人・障がい者の災害体験

ボランティアセンターの防災の取り組みの1つとして毎年9月第4日曜日に、外国人・障がい者の災害体験を行っています。防災訓練に参加する機会が少なくなりがちな方がたに、防災に関する知識や情報をお伝えしたり、起震車体験やけむり体験などをさせていただくもので、今年は9月25日に行います。

(やまびこコーナー)
参照



ご存知ですか? このマーク。

聴覚障がい者標識(聴覚障がい者マーク)
聴覚障がいの方が運転する車であることを示します。このマークを付けている車に無理な割り込みをすると道交法違反になります。



見に来てください

オバマ大統領の広島演説

5月27日(金)に、オバマ米大統領が広島を訪れた際に17分間声明文を述べられたことは、記憶に新しいことと思います。今回、この17分間の声明文を、登録団体の「なぎさ点訳」さんが、一冊の点字の本にしてくれました。この点字の本は、ボランティアセンターに常時置いてあります。是非この機会に点字にふれてみてください。皆さんのお越しをお待ちしております。



ボランティアさん募集情報

募集情報の掲載を希望される施設・団体の方は、ボランティアセンターまでお問い合わせください。
電話:5662-7671 FAX:3653-0740

なごみの家ボランティア募集

まちの福祉施設「なごみの家」が5月7日、区内3か所にオープンしました。地域の皆さまのおかげで、多くの方々足を運んでいただいています。もうすぐ、子どもたちが待ちに待った夏休みが始まります。そこで、なごみの家では、子どもに関わってくださるボランティアを募集します。例えば「子どもに教える工作」「子どもの食堂の調理や見守り」など。ぜひ、地域の子どもの成長にお力をお貸しください!

お問い合わせ先

- なごみの家 小岩……東小岩5-19-8・03-3658-4753
- なごみの家 松江北……中央2-13-12・03-3652-4753
- なごみの家 長島桑川…東葛西6-34-1・03-3680-2753

子どもの登校をサポートする ボランティア(ステップサポーター)

区内の小・中学校で、学校の支援計画に基づき、不登校の子どもたちに関わり、登校をサポートする活動です。活動時間は、午前中が多くなります。活動内容は、教室に入れない子どもの別室活動の見守り、付き添いがあれば登校できる子どものお迎えなどです。詳細は、お問合せください。

(連絡先) 江戸川区教育研究所 担当 5662-7204

特別養護老人ホーム

みどりの郷福楽園 (臨海町1-4-4)

【内容】清掃、シーツ交換、話相手、外出・散歩介助、洗濯補助、将棋・麻雀の相手、生け花、習字など

【ホームページ】<http://www.fukurakuen.or.jp>

【連絡先】5659-4122 (川久保・中村)

特別養護老人ホーム

江戸川光照苑 (北小岩5-7-2)

【内容】①特養棟:リネン交換(ベットのシーツの取り換え)、手芸クラブ(講師)、入浴後の整容
②デイサービス:趣味を生かしたお手伝い、生け花、フラワーアレンジ、手芸、おやつなどの講師

【ホームページ】<http://www.e-kousyoen.or.jp/>

【連絡先】5668-0051 (月岡・小倉・渡辺/ボランティア担当)



ボランティア通信「やまびこ」コーナー



※江戸川区福祉ボランティア団体協議会の情報コーナーです。

プールでのボランティア

昨年20周年を迎えた「サタデーネット」の活動は多岐にわたっています。その一つが障害者支援施設「もぐらの家」でのボランティアです。「もぐらの家」における利用者さんの健康支援を目的とした月1回のスポーツの日に、利用者さんの運動の介助を行っています。また、スポーツの日以外についても毎週実施されているプールで水中運動の介助ボランティアを行っています。

取材させていただいたある日には、朝8時に10名ほどの利用者さんと共に施設を出発し、葛飾スポーツセンターのプールに到着。プールの中で危険のないよう、利用者さんの介助をしていました。

この活動は10年続いているそうで「施設からは『サタデーネットさんは私たちにとって、ものすごく大事な、ものすごくありがたい存在です。』と感謝されている。」とのことでした。

涼しい中での温かいふれあいが、いつまでも続きますように・・・。



活き活き楽しく洗濯たたみボランティア

6月15日、なぎさ和楽園の洗濯室には、乾燥された洗濯物をたたみ、名札のついた利用者さんのかごに手際よく仕分けしてゆくボランティアさんがいました。ボランティア団体「なぎさグループ」の方々です。

紙おむつの無かった頃、布おむつを洗濯してたたむ作業は大変な事であったため、そのお手伝いから始まり、その後のいろいろなボランティア活動の原点になったともいわれています。

この日活動していた「なぎさグループ」の瀬沼トキ子さんは、ご主人が車いす生活になり、3年間介護をされました。ご主人が他界された後、なにか人の助けになりたいと相談したところ、洗濯たたみを紹介され、15年間続けているそうです。

瀬沼さんにお話を伺ったところ「毎週水曜日は、ここに来るのが何より楽しみで、前日からワクワクしている。」との事でした。

地味で人目につかない活動ですが、各施設では多くの洗濯たたみボランティアさんが輝いています。



やまびこ伝言板

今年も「外国人と障がい者の災害体験」を開催します

9月25日(日)午前10時から江戸川消防署・松江第三中学校で“SOSは自分から”をサブテーマに区内の外国人・障がい者・その支援者を対象に開催します。
災害時に自ら身の安全を守る行動をとれるようになるため、ぜひこの機会に体験してみませんか。



体験内容

- AED・けむり・消火・起震車体験
- Tシャツ・毛布で応急担架作り
- 身近な物でできる災害グッズの展示
- 参加者同士の交流